

速く効く! 幅広く効く! SU抵抗性雑草に効く!!

# 驚きの“ピラクロ”効果



コナギ



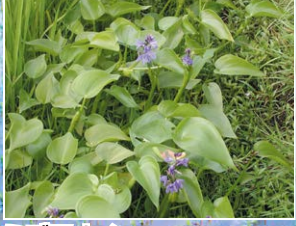
コウキヤガラ



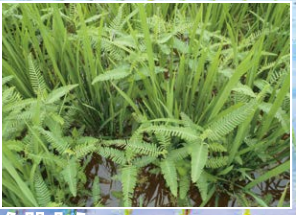
ホタルイ



ノビエ



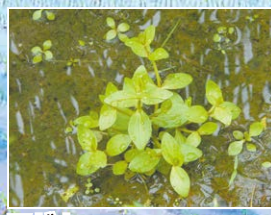
ミズアオイ



クサネム



クログワイ



アゼナ



オモダカ



田植同時散布OK!

1キロ粒剤・フロアブル



投げ込み散布OK!

ジャンボ



水口施用OK!

フロアブル



WCS用イネにも使えます!

水稲用初期除草剤

# ピラクロ

1キロ粒剤 / フロアブル / ジャンボ / 300FG

®は協友アグリ(株)の登録商標です。



# 水稲用初期除草剤

# ピラクロニル

## 1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ 300FG

### 特長

- ノビエだけでなく広葉、カヤツリグサ科など幅広い雑草に高い効果を示す。
- SU抵抗性雑草に対しても同様に幅広い効果を示す。
- 効果の発現が非常に速い。
- 温度による効果の変動が少ない。

### 適用雑草の範囲及び使用方法

#### ピラクロニル 1キロ粒剤 (適用表より抜粋)

農林水産省登録 第22087号

■有効成分(一般名)ピラクロニル:1.8% ■人畜毒性:普通物\*

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ヒルムシロ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ ナガエツルノゲイトウ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1 kg	1回	田植同時 散布機で施用	2回以内
		植代後～移植7日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで			湛水散布又は 無人航空機に よる散布	

#### ピラクロニル フロアブル (適用表より抜粋)

農林水産省登録 第22088号

■有効成分(一般名)ピラクロニル:3.6% ■人畜毒性:普通物\*

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ヒルムシロ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ	1回	田植同時 散布機で施用	2回以内
		植代後～移植7日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで			原液湛水散布 又は 水口施用	

#### ピラクロニル ジャンボ

農林水産省登録 第23733号

■有効成分(一般名)ピラクロニル:6.0% ■人畜毒性:普通物\*

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ヒルムシロ	植代後～移植7日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (300g)	1回	水田に 小包装 (パック)のまま 投げ入れる	2回以内

#### ピラクロニル 300FG

農林水産省登録 第24645号

■有効成分(一般名)ピラクロニル:6.0% ■人畜毒性:普通物\*

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ヒルムシロ	植代後～移植7日前又は 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、移植後30日まで	300g	1回	湛水散布、 湛水周縁散布又は 無人航空機に よる散布	2回以内

### △ 使用上の注意事項 ※一部抜粋

#### 4割製剤に共通する注意事項

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(湛水深2cm/日以上)では、葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いくさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。

#### 1キロ粒剤・フロアブル・300FGに共通する注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。

#### 1キロ粒剤・フロアブルに共通する注意事項

- 植代後から移植7日前までに使用する場合は、水田の代かき、均平はていぬいに行い、浮遊物のワラくずなどのおこみは出来るだけ取り除いてください。散布後は少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(湛水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 移植後に使用する場合は、本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないようにし、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の養蚕にはかからないようにしてください。

本資料の記載内容は2023年12月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届く所には置かないでください。★空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

#### 1キロ粒剤・300FGに共通する注意事項

●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。

#### ジャンボ・300FGに共通する注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワは発生初期まで、ヒルムシロは発生初期までが本剤の散布適期です。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な葉害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはていぬいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていぬいに行ってください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。

#### 1キロ粒剤の注意事項

- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するよう注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワでは発生初期まで、ヒルムシロでは発生初期まで、オモダカでは発生前～発生初期、クサネムでは本葉1葉期まで、クログワイ、コウキヤガラでは発生前、ナガエツルノゲイトウは発生初期、アオミドロ・藻類による表層はく離では発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クサネム、クログワイ、コウキヤガラ、ナガエツルノゲイトウ、藻類による表層はく離は発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください(但し、オモダカは有効な前処理剤または後処理剤)。

●移植後に使用する場合は、水の出入りを止め湛水状態に均一に散布してください。

●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

#### フロアブルの注意事項

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するよう注意してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ、オモダカでは発生初期まで、ヒルムシロでは発生初期まで、クログワイ、コウキヤガラでは発生前、アオミドロ・藻類による表層はく離では発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、藻類による表層はく離は発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。(但し、オモダカは有効な前処理剤または後処理剤)
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 移植後に使用する場合は、水の出入りを止め湛水状態に本剤が水田全面にゆきわたるように散布してください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんよく洗い、うがいをしてください。

#### ジャンボの注意事項

- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、ぬれた手で触らないでください。
- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。

